

骨軟部腫瘍・整形外科で悪性骨軟部腫瘍の治療を行った患者さんへ

① 研究課題名	10 年以上の無病期間を経て再発・転移した骨軟部肉腫症例の検討
② 対象者および対象期間	新潟県立がんセンターおよび新潟大学医歯学総合病院で 2000 年から 2024 年までに治療を行った骨軟部肉腫症例のうち、10 年以上の無病期間を経たのちに局所再発、遠隔転移を認めた患者様
③ 概要	骨軟部肉腫の患者様のうち、10 年以上の無病期間を経たのちに局所再発、遠隔転移を認めた患者様の臨床的な特徴を調査します
④ 研究の目的・意義	骨軟部肉腫の局所再発や遠隔転移の多くは原発病変の治療後 10 年以内に生じるとされています。しかし、稀に、長期経過後に局所再発や遠隔転移を生じることがあります。今回、骨軟部肉腫における再発・転移について調査し、特に 10 年以上の無病期間を経たのちに局所再発・転移を生じた症例を選び出し、どのような症例が長期経過後に局所再発・遠隔転移を生じているかを明らかにすることを目的とします。なお、骨軟部肉腫は希少癌であり、その中で更にまれな病態を示す症例を調査するため新潟がんセンター新潟病院と新潟大学病院整形外科と共同で研究を行います。本研究によってどのような症例が長期経過後に再発・転移するかが明らかになればフォローアップの最適化に寄与することが見込まれます。
⑤ 研究期間	研究許可日から 2028 年 3 月 31 日まで
⑥ 情報の利用目的及び利用方法	カルテから本研究で必要な情報を収集します。使用するデータは、氏名を消す代わりに特定の個人を識別できる研究用の番号を付けて管理して、その情報だけでは誰のものかわからない状態で利用します。データを提供する場合はパスワード付き電子媒体に保管されたものを直接受け渡して提供します。研究結果、臨床データは研究分担者が管理するパソコンにパスワードをかけた状態とし、印刷資料など紙媒体とともに、鍵のかかる保存庫で管理し、第三者の目に触れぬように、データが漏れないよう十分に注意します。研究の成果は、骨軟部腫瘍に関連する学会・研究会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。また、今回の研究への参加を希望されない場合には、試料・情報の利用や共同研究機関への試料・情報提供は行われません。参加を希望されなくても一切不利益がないことを保証いたします。また、研究途中であっても、研究参加を取りやめたい場合には試料・情報の利用や共同研究機関への試料・情報提供は停止されます。
⑦ 利用する情報の項目	診療記録、画像検査結果、病理結果、手術記録

⑧ 研究の実施体制	<p>【研究代表者】 新潟県立がんセンター新潟病院 骨軟部腫瘍・整形外科 部長 畠野宏史</p> <p>【当院研究責任者】骨軟部腫瘍・整形外科 部長 畠野 宏史</p> <p>【当院研究分担者】骨軟部腫瘍・整形外科 部長 山岸 哲郎</p> <p>【新潟大学研究責任者】新潟大学・整形外科 助教 有泉 高志</p> <p>【新潟大学研究分担者】新潟大学・整形外科 教授 川島寛之 新潟大学・整形外科 助教 大池直樹 新潟大学・整形外科 医員 宮崎友宏</p> <p>【研究協力者】 魚沼基幹病院・魚沼地域医療教育センター 病院長 生越 章</p>
⑨ 研究機関の名称及びその長	<p>以下の共同研究機関等で利用いたします。</p> <p>新潟県立がんセンター新潟病院：病院長 田中洋史</p> <p>新潟大学医歯学総合病院：病院長 菊地 利明</p>
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	<p>新潟県立がんセンター新潟病院 骨軟部腫瘍・整形外科 畠野宏史</p> <p>共同研究機関：新潟大学医歯学総合病院 整形外科 有泉高志</p>
⑪ お問い合わせ先	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>新潟県立がんセンター新潟病院（骨軟部腫瘍・整形外科）</p> <p>研究責任者：畠野宏史</p> <p>連絡先：新潟市中央区川岸町2丁目15番地3</p> <p>TEL：025-266-5111</p> <p>【研究代表者】 新潟県立がんセンター新潟病院 骨軟部腫瘍・整形外科 部長 畠野宏史</p> <p>連絡先：新潟市中央区川岸町2丁目15番地3</p> <p>TEL：025-266-5111</p>